

研究研修部だより

第2号

都立品川特別支援学校 令和5年3月23日(木) 発行

校長 松井 栄人 研究研修部主任 小野寺 泰子 担当 小野寺 泰子



今回の研究研修部だよりは、後期に実施された研修会、研究会について御報告いたします。

○全校研究発表会（令和5年1月19日）

本校では、月に1回(基本的には第2水曜日)校内研究会を実施しています。今年度は、『学習指導要領に基づくキャリア発達の育成～PDCAサイクルによる小中一貫した年間指導計画(各教科)の再考について～』という研究テーマに基づき「国語・算数(数学)科」「図画工作 美術科」「保健体育科」「音楽科」の四つの分科会に分かれて、小・中学部9年間の学びの系統性を考えるための研究を進めて参りました。各分科会の研究のまとめを発表し、外部講師の先生より助言を受ける「全校研究発表会」を上記の日程で実施いたしました。

第一部では、上記の四つの分科会より、小・中学部の9年間でどのような学習活動が展開されているのかを共通理解(現状の把握)し、今後に向けて児童・生徒のキャリア発達を更に促す学習活動や学び方(今後の課題)についての報告がありました。

第二部では、本校の研究に関する助言者である 弘前大学 菊地一文教授より『キャリア発達を促す授業作りを振り返り、児童・生徒にとっての「学びとつながり」を捉え直す』と題して、お話をいただきました。また、本校の教員以外の先生方には、オンラインで参加していただき、共に学ぶ機会をもちました。

年に1回、このような機会を通して、校内での研究内容や課題を共通理解し、より良い品川の教育について全教員で考える貴重な時間となっています。令和5年度に向けて、引き続きこのような研究会、及び報告会を大切にして参ります。



人権研修会

全校研究発表会



○人権研修会（令和4年12月26日）

冬季休業中に、講師に弁護士の関哉直人先生をお招きして「人権研修会」を実施しました。関哉先生は、障害者権利条約にも詳しい先生です。本研修会では、『特別支援学校の教員としての危機管理、その知識と解決方法～尊厳を意識した現場の支援に活かすために～』と題してお話をいただきました。先生の御経験より学校生活の中で、過去にあった事例を挙げていただき、それに対して私たち教員はどのようなことを念頭に置いて対応することが必要か、などのお話をいただきました。まとめとして、学校の中で教員の対応としては、(副題にもある通り)児童・生徒の「尊厳」を中心に据えることが大切であり、御家庭との目的共有及び本人を中心に据えた協働が大切であるというお話をいただきました、たいへん有意義な研修会となりました。